

村の避難指示解除見込み時期 国と合意

飯館村 避難指示解除見込み時期



■平成29年3月解除
 ■平成28年3月解除
 ■平成26年3月解除

東電賠償の精神的損害 一括支払いが始まる

10月19日の村議会全員協議会において、村の避難指示解除の見込み時期が国と協議され、合意に至りました。

村内の解除見込み時期は、帰還困難区域の長泥行政区は原発事故から6年後の平成29年3月、居住制限区域のうち線量の高い前田・八和木、比曾、蕨平の3行政区は5年後の平成28年3月です。それ以外の16行政区は平成26年3月が解除見込み時期となりますが、村内の除染の進捗状況により解除見込み時期を見直し、延長する場合があります。

解除見込み時期が決定したことにより、東京電力による精神的損害等に対する各区域ごとの一括前払い賠償請求の受け付けが開始されています。賠償請求のうち、財物(宅地・建物)・家財については、算定方法の決定後、請求できるようになります。

解除見込み時期：今後の避難指示の「解除」の見込みを示すもので、「解除見込み時期」の決定をもって避難指示が「解除」されるものではありません。

除染は25年度までに実施

現在行われている村内の除染作業は、今後1日当たり約4300人が作業することにより、25年度末までに実施可能であることが国から示されました。そのほか、以下の点が国から示されています。

- 村内全域の全農地は表土削り取りを行い、客土も実施。
- 線量低減のために伐採した居久根については別途補償。
- 除染不可能な家屋等について平成24・25年度に個人が行った解体にかかる経費(除染不可能の判断は国が行う)は国の除染費用によって支払われる。復旧費用は、当該除染不可能家屋等の財物価値を上限として東京電力の賠償により支払われる。
- 昇口については、アスファルト舗装ができる状態まで対応。

菅野村政 5期目のスタート 就任あいさつ

重点施策

- 1 村民の一人ひとりに寄り添って
もどっても、もどらなくとも同じ村民の考えで
- 2 村民の健康を最優先に
村独自の検査体制をしっかりと
- 3 村内の除染をしっかりと
国の責任と村民の協力でふるさと戻し
- 4 村民への賠償を確実に
生活支援を含めて国へ強力に要求
- 5 村民の雇用づくりに努めます
まず村内企業・事務所・商店等への支援を



10月29日の5期初登庁で職員と握手を交わす村長

このたび新たに4年間村政を担うことになりました。その責任の重さをこれまでとは比べようもなく大きく感じております。全村避難に至った原因は国と東京電力とはいえ、村民の皆さんにこのような避難生活を強いてしまいました。不安を抱えた生活で大変な思いをされていることを思うたび、心が痛んでなりません。この4年間の内に、「村民の帰村」の道筋をつけなければならぬという思いであります。「村民の帰村」とは、帰る方だけではなく、帰れない方にもできる限りの対応や支援をしていくという、村の「まideaな復興計画」の理念を実現していくことにあります。

これまでも大小さまざまな判断や決断をしてきましたが、この4年間の舵取りは生易しいものではないと認識しています。今回の原発事故に対する対処の仕方、帰還への手順など、合併の時以上の判断・決断が求められることでしょうか。原子力災害の特異性から、百点満点の判断はなかなか難しいと考えますが、議会を始め村民の皆さんと協議を重ね、村民にとってよりよい復興・再生の村づくりになるよう職員ともども全力で、必死に舵を切っていく覚悟です。

先日の村文化祭の折、さとう宗幸さんのコンサートがありました。最後に歌った「二度とない人生だから」という歌の内容に共感を覚えたのでご紹介します。

「いつか生まれる人のため、私は何を残したのだろうか。二度とない人生だから後を継いでくれる若い人のた

めに、できるだけのことをしよう。畑を耕し、種を用意していくのだ。山や川をきれいにしておくのだ。後から来る者のために、皆、それぞれの力を傾けて…」

全くの偶然ですが、まるで今の私に問いかける言葉でなかったのかと胸が揺すられ、心を熱くしたところで、私は、絶対にあつてはならないはずですが、この4年間の内に一日でも早く帰村しなければなりません。『時間がかかっても絶対に村に帰還する。帰還できる環境を後世に残す』このことが、先人から村を引き継いだ私たちが「ふるさと」を見捨てるようなことは、絶対にあつてはならないはずですが、この4年間の内に一日でも早く帰村しなければなりません。『時間がかかっても絶対に村に帰還する。帰還できる環境を後世に残す』このことが、先人から村を引き継いだ私たちに課せられた使命であると考えています。

わがふるさと飯館村は、思いもよらないところで知れ渡ってしまった。一方で、そのことよって全国から新たな応援や支援の手も数多くいただきました。知れ渡ったことを逆手に取り、心を寄せていただいた方々のさらなるお力添えをいただいて、復興・再生どころか「新生 飯館村」の足掛かりを作っていく任期にしたいと強い思いを持ったところです。

皆さんのご協力を切にお願いし、就任のごあいさつとします。

飯館村村長 菅野 典雄